



創立 2011年6月17日
SAITAMA UKISHIRO
JAPAN

埼玉浮き城プロバスクラブ

2021,1,15 発行

No. 115

例会日 毎月第3金曜日 ホテル ガーデンパレス 熊谷市佐谷田 3248 TEL048-525-7777
事務局 〒348-0041 埼玉県羽生市上新郷 5642-2 TEL 048-562-5556 FAX 048-562-5556
会長 須郷 隆 副会長 木島 隆夫 幹事 澤田 良一 情報委員長 椎橋 俊夫

本日のプログラム

第116回 通常例会

国歌斉唱・プロバスソング斉唱(プロバス賛歌)
会長挨拶 会長 須郷 隆
幹事報告 副会長 木島 隆夫
委員会報告・同好会報告
新春祝いの舞 大澤 由子会員(西川扇由女)
バースディ報告と会員スピーチ 安部節子会員他 10名
ハッピーボックス披露 例会委員 武笠 勇
閉会 例会副委員長 田口覇洲男
<第115回例会出席率 会員 34・出席 26・出席率 76.47%>

第115回(12月18日) 通常例会

□幹事報告 副会長 木島 隆夫

1. 全日本プロバス協議会・協賛金について
全日本プロバス協議会活動の活性化及び会発展の

- 基盤を目的とする協賛金として一口10,000円を協議会の要請に基づき毎年拠出することと致します。
2. 内規の改定について
従来の内規を一部改定致しました。令和2年12月18日改訂実施致します。詳細は、該当事案時に報告させていただきますのでご了承下さい。
3. 創立10周年記念式典開催について
新型コロナ感染拡大に鑑み、式典規模を縮小して開催する方向で検討を進めて参ります。可否を含めた最終的な結論は1月にまとめたいと存じます。
4. さわやかコンサート開催について
コロナ禍拡大及び諸般の状況から今年度中の開催は困難と判断致します。次年度以降の開催を前提に引き続き調整を進めていきたいと存じます。

会長スピーチ

会長 須郷 隆



新年あけましたおめでとうございます。

皆様には、厳しいコロナ禍の中ではありますがご健勝にて良いお年をお迎えの事と存じます。

昨年初めに発生した新型コロナウイルスの感染拡大の勢いは、年末を迎えても止まらず昨年末には全世界では8千万人超えを、わが国も22万人を越えました。また年末には強烈な感染力を持つといわれる変異種が英国・南アフリカで登場し、このコロナの脅威から何時抜け出せるのか全く分からない状態で新年を迎えました。

いつもの年ですと前年を振り返り、出来た事・出来なかった事を思い起こして、今年のやるべき事・やりたい事を考えた気が致します。

然しながら、本年は強烈な変異種まで出現したこのコロナウイルスとの果てしない戦いが続くため何をして行けばよいのか全く分からない状況にあります。米国製ワクチンの順調な供給や自国製ワクチンの早期開発により、この異常な状態が出来るだけ早く沈静化する事を願っています。

このコロナは働き方・過ごし方等我々の意識を大きく変え、社会生活全体を根底から変えつつあるような気がいたします。コロナ禍が終息した後もそれ以前には戻らないある種の生活革命を齎しているのではと思います。

そのような中、当クラブは本年創立10周年を迎

えます。創立は、「2011年(平成23年)6月17日」、未曾有の東日本大震災が発生(3月11日)した3ヶ月後の事でした。東日本大震災は、東北・関東にかけて甚大な被害を齎し、物質的にも精神的にもその損失は大きく、経済・社会活動に大きな影響を与えました。

国全体が未だ混乱状態の中でのスタートでしたが、会員の皆様方の弛まぬご努力により充実・発展し今日に至りました。

奇しくもその創立10周年は、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない異常事態の中で迎えます。従いまして、4月18日(日)に予定しております創立10周年記念式典は、規模を縮小し会員並びに家族のみにて行わざるを得ない(正式には1月15日理事会で決定予定)と思っております。

10周年を迎える年度のスタート時より皆様と共に本年は、これからの更なる発展・飛躍の為の重要な年である事を認識し行動して参りました。従いまして、記念式典は、会員全員の意識の向上や絆を強化し当クラブの更なる発展の為の礎を築く事が目的であり規模の大小は関係ないと思っております。

上述よりコロナの尚一層の感染拡大によって式典が中止せざるを得ない状況にならないよう日々祈っている次第です。

皆様にはお身体ご自愛され記念式典を共に祝い・楽しむことができますよう心より願い祈っております。

お祝い
12月誕生日
を迎えられ
た会員



保泉 欣嗣会員



加藤 力也会員

ハッピーボックス発表

◎早いもので今年も残り少ない日々となりました。健康にご留意のうえよいお年をお迎えください。藤倉さん卓話を楽しみにしております。(須郷)◎藤倉会員の卓話楽しみにしております。(畠山)◎安部会員の病状が心配です。事務局長はプロバスクラブの要ですから早く良くなることを願っています。年末を迎えコロナが、更に暴れていますが、会員皆様のご健康と良い年が迎えられることをお祈り申し上げます。(小山)◎大変長い間欠席をし、ご迷惑とご心配をおかけし申し訳ありませんでした。腰椎と頸椎が変形し椎間板がずれて大変つらい日々を過ごしました。ようやく、今年最後の例会に間に合いました。引き続きよろしくお願いします。(宮根)◎腰を打ちましたが全快いたしました。3か月ぶりの例会です。(野原)◎今月のお誕生月の保泉会員、加藤会員、まことにおめでとございます。益々のご活躍を期待しております。(小川)◎81歳の誕生祝を皆様にしていただきありが

とうございます。これからも元気で会えるのを楽しみにしております。よろしくお願いします。(加藤)◎先月83歳の誕生祝をしていただいたのに、腰痛が起り、経験の無いことなので困っています。人生には、ほこりが積もり、垢が付き、泣きべそをかく時がこっそりとやってくることをしみじみ感じました。頑張ります。(高橋)◎本年最後の例会です。一年お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。(石塚、大澤、嶋田)◎不安な一年。ご指導いただきありがとうございます。(柿沼)◎健康診断の無事終了。ほとんど異常なしでした。来年もしっかり活動させていただきます。(渡辺)◎開発と言う美名のもとで自然破壊が進行、コロナは、人間の欲望に対する天の警鐘かも…。明けない夜は無い。もう暫し頑張りましょう。(武笠)◎コロナ第三波が猛威を振るっております。感染しないように注意しましょう。健康で楽しい新年を迎えられますように、新春例会を元気で迎えられるように…。(鈴木民儀、小島、根岸、木村、赤松、山田、岡安、保泉)◎コロナ禍の中、例会開催のスタッフの皆様ご苦勞様です。一日も早くワクチン接種が出来、通常の生活に戻れるようお祈りいたします。(藤倉)◎一年は早いもので、間もなく冬至です。庭先の柚子の実が寒々とした様子でなっています。21日は幾つか収穫しましょう。(木島)◎今月、金婚式を迎えました。健康なればこそと感謝しております。(田口) 文責 田口覇洲男

第115回卓話

自己紹介をかねて



藤 倉 新 平

1. プロバスクラブ入会について

私は昭和52年行田市忍、牧野家の三姉妹次女恵子と結婚し現在に至って居りますが姉妹すべて嫁いっており両親が他界した当時、実家の土地建物の管理を考えていたところ、行田市より文化保存会足袋蔵めぐりの一環として建物を保存したいとの要望があり3姉妹協議の上快く同意し牧禎舎という名称で観光客、市民の憩いの場として使われています。

建物内は常設藍染体験工房、物作り工房、各種イベント開催等運営されています。場所は忍連華寺通り南入り口近くです。以上のような経緯により面識があった渡辺顧問より当クラブへのお誘いを受けたと理解しています。入会につきまして微力ながらお役に立てたらと思っています。

2. 商号 ゴーリキの由来

家業は三代前羽生の地において地下足袋の製造が原点で当時荷物運び人を合力と称したそうですが、強力という商標で当時北は北海道、南は台湾まで幅広く販売拡大して行きました。しかし満州事変の勃発により日本は西側諸国から経済封鎖を受け食料、エネルギー、原料等輸入ストップ状態になり、天然ゴムが入手出来なく地下足袋製造を断念、新商品開発を模索していたところ、行田繊維組合より羽生繊維組合に被服省から軍服製造の依頼があり羽生も数社請負しました。当時そのような経緯があり双方深い交流があったと聞いています。

終戦までは軍服の製造、戦後は動乱の中戦地より引揚者も増え人口は終戦時7500万が昭和30年代に一気に1億に増大、義務教育を受ける世代が急増し学生服の需要が急拡大しました。弊社も学生服製造に転換し工場には女子工員約200名ほど雇用し寮生活していました。このころは私も小学生で当時のことは鮮明に覚えています。遊び場は工場で、裁断、縫製、仕上げ等毎日飽きもせず見学していました。

30年代後半に入ると日本は戦後復興の波に乗り世界万国博覧会東京オリンピック等インフラ整備、都市開発、高速道路開発など先進国の仲間入りするほどの経済発展の時代でした。当時アメリカでは現場作業服としてジーンズというものがあり、日本ではまだ作業服が確立されていませんでした。そこで新しい商品として日本人に合った現場作業服の開発に乗り出し急増する作業服の生産に切り替えていきました。当時国鉄は引揚者雇用受け皿として職員30万人在籍しており現場作業服の依頼を受け製造に着手しました。

40年代は団塊世代が就労人口に加わりさらに経済発展した時代です。平成14年社名は有限会社ゴーリキに変更し現在に至って居ります。改めて先代たちは時代の波に翻弄され臨機応変に対応していったかと強く思います。

引き継いだ私たちは時代の変化がさらに早くなる中、事業リスクを分担し新事業を立ち上げ後継者に教えるのではなく、たとえ考えが違ってても協議し勇気をもって受け入れていく気持ちが大事だと常々思っています。



会 員 投 稿



「一隅を照らす」人に

鈴木 民 儀

比叡山延暦寺を建立し、天台宗を創始した伝教大師最澄の教えに、「一隅を照らす。これ国の宝なり」と言うことばがあります。この言葉を私流に解釈すると、一隅とは、建物の中の片隅と言う意味です。広い場所ではありません。せいぜい二～三寸四方の狭い場所をいいます。その様な狭い所しか明るくしないようなほの暗い明かり、そのほの暗い灯火にも例えられる私たちのちょっとした行いが、世の中を明るくしているのだというように解釈しました。

事実、比叡山根本中堂に灯されている「不滅の法灯」は、油の中に浸した灯心に、灯っている薄暗い灯火です。しかしこの灯火は、一千年以上にわたってそのほのかな光を保ち続けています。信者にとっては、このほのかな光が救いの光であり、希望の光であります。ほのかな光のような、しかし人々にとってはかけがえのない行為といった場合、私は、マザー・テレサを連想します。彼女は1979年に、ノーベル平和賞を授与されるまで、全く無名の修道女でした。しかし、インドのカルカッタの貧しい人々にとっては、かけがえのない人でありました。

一片のパンも、一かけらの愛もなく、飢え、死んでいく人々。また生まれる前に愛をはぎとられ、死んでいく多くの胎児たち。こういう恵まれない人たちの手を握り、体を支え、死にゆく人たちの口に耳をくっつけて、悩みを聞いてあげる。あるいは死の不安を訴える人には、耳元で神の救いを伝える。マ

ザー・テレサはインドのカルカッタに満ち満ちている貧しさと心の飢えに苦しむ人々に、身を挺して愛をつぎ込みました。

彼女の行いは病院や孤児院を建設したり、あるいは政府にはたらきかけるといふ、大きな目立った仕事ではありません。薄暗い「死者の家」といわれる病院の片隅で、ひっそり行われる地味なおこないです。これこそ伝教大師最澄がいう「一隅を照らす」ような行為だと思います。そしてこういう行為こそ「国の宝なり」と、最澄はいつているのです。

仏教に「和顔愛語」という言葉があります。和やかな微笑みで人に接する、優しい言葉をかけるという行為が、一隅を照らす灯火という意味ではないかと思ひます。横断歩道で止まっているお年寄りがいた場合、手を取って一緒に渡る。目の不自由な人がいた場合、「どちらにいらしゃいますか。ご一緒しましょう」と優しい言葉をかけてあげることが、一隅を照らす灯火という事だと思ひます。

一本一本の灯火は、薄暗いものです。しかし、一人ひとりが、ほのかな灯火を灯すならば、明るくすることができます。一人ひとりの力は弱いものです。けれども、皆が力を合わせて少しの心温まる行為をしていくならば、世の中を明るくしていくことができますと思ひます。

社会が、平和で心身ともに豊かにしていくためには、一人ひとりが、「一隅を照らす」と言う他人に奉仕する心構えが必要であります。「一隅を照らす」人生をおくる事を目指して行ければ幸いです。



比叡山延暦寺



歴史から学ぶ経営

有限会社 榎園商事

代表取締役 根 岸 友 憲

熊谷市の南端にある旧豪農の根岸家には、「熊谷市指定文化財根岸家長屋門」があります。門の前の桜は、毎年三月末の開花の時期には大勢の人々が見学を訪れ夜はライトアップも行われ桜の名所の一つとなっています。門の大きさは長さ23メートル高さ7メートル奥行6メートルあり現存する長屋門としては関東一の大きさを誇っています。

根岸家は、慶長年間武士を辞し現在の地に帰農し約400年間代々続いています。その中で特筆すべきは、約250年間名主を務め豪農としての地位を守ってきたのです。江戸



時代には、各村に必ず名主がおりましたが、豪農と呼ばれる名主はごく僅かです。その成立は「近世関東農村における豪農の成立と経営について」の論文を発表された埼玉大学教授小野文雄先生の研究（根岸家古文書使用）によって解明が行われました。

それはまさに現代の企業経営と相通じることが数多くあることがわかりました。江戸時代の根岸家は名主として農業の経営を主体としてきましたが、それだけでは豪農と呼ばれる地位は築くことはできません。代々の当主がそれぞれに経営戦略を適切に行ってきた結果なのです。

具体的には第一に人材の育成です。近隣をはじめかなり遠方でも、住民のあいだで神童と噂された子供を引き取り教養を身につけさせ将来の番頭候補に育てたのです。又男子の実子であっても当主としてふさわしくないと判断したときは優秀な婿を迎え後継者としたのです。経営方針もその時の当主の判断が重要視され、常に最新の情報にもとずき過去の実績にとらわれない事業を展開して行きました。例をあげれば金融業（質屋）です。江戸時代武士が困窮する頃がありましたが、その時に始め儲かって長くは続けず潮時をみて撤退します。

(4) 埼玉浮き城プロバスケットボール会報

荒川の河岸（船着き場）を使用した船運業も同じです。比較的長く続けたのは酒造業です。これは明治の始め頃まで続けています。利益で得たお金（資金）の使い道ですが、多くを地元に還元しています。治水事業（田畑の整備）を行い安定した稲作等の収穫を維持させています。又学問所や剣道場を開き江戸より講師を招き文武両道の教育にも力を入れました。



世界のミュージアムぶら巡り（続編）

トプカプ宮殿博物館 （トルコ・イスタンブール市）

木村 忠夫

由紀さおり姉妹が軽快にハミングする「トルコ行進曲」は、モーツァルトがオスマン帝国の軍楽隊の音楽に刺激を受けて作曲した行進曲です。クラシック界のキングオブ有名曲と言っても過言ではないほど世界中の人達に親しまれています。ピアノソナタ第11番の第3楽章がそれです。

トルコのイスタンブールは、ヨーロッパとアジアの両大陸にまたがる都市です。4世紀にコンスタンティノープル（現イスタンブール）の名でローマ帝国の都となって以来、シルクロードの西の終着点として、またヨーロッパから東方への入口として発展してきました。立地だけでなく、歴史の上でも、二大宗教国家が多くの足跡を残しています。滅亡したキリスト教国、ビザンティン帝国の威光と、東方を席捲したイスラム教国、オスマン帝国の栄光の数々が「イスタンブール歴史地区」として世界遺産として登録されています。東西文明の合流点として育まれたこの港町は、今もなお過ぎし日の二つの帝都の威厳を保ち続けています。

トルコは世界で最も親日的な国の一つとして知られています。今から125年前に本州最南端の和歌山県串本町檜野崎の沖合を台風のなか航海中のトルコ軍艦エルトゥールル号が岩礁に激突、587名が殉職、生存者69名という大海難事故が1890年（明治23年9月16日）に発生しました。この時近くの漁民は総出で不眠不休の救助活動を行い、介護、殉職者の遺体捜索等に当たりました。生存者69名はその後神戸で治療を受け、日本海軍2隻に分乗し帰国しました。明治天皇は行幸の折 慰霊碑を訪れ会釈を賜っております。

この事件の対応が日本人に対する親愛と感謝の念を根付かせるきっかけとなったのでしょうか。トルコの小学校の教科書にはこの事件が詳細に載っています。日本人はこの海難事故を忘れてしまっています。歴史の教科書で学んだトルコ人で知らない国民は皆無です。

イラン・イラク戦争が始まり、サダム・フセインは48時間後に無制限にイランを攻撃すると予告しました。この時イラン国内には日本人215名が取り残

情報収集も大きな柱です。江戸に倉庫兼事務所を構え正確な情報をいち早く取得し経営の判断をしてきたのです。その結果幕末には、田畑山林150町歩を所有する豪農に成長したのです。この様に人材育成 情報管理 地元還元を行った事は、現代の企業経営の基礎を築いたものであるといえるでしょう。

されていました。打つ手のない日本に対して、トルコから駆け付けた救援機2機により、全員がイランを脱出することが出来ました。攻撃開始予告時間2時間前の間一髪の脱出でした。日本の謝意に対し125年前の海難事故における日本の善意を、トルコ国民は決して忘れてはいませんということでした。

トルコ最大都市イスタンブールはアジアとヨーロッパを隔てるボスポラス海峡が遮っています。この海峡を海底横断鉄道で結ぶことは新トルコ150年の夢でした。世界初全長13.6kmの大陸間海底トンネルが日本の大成建設によって実現します。開通式のテープカットには当時の安倍首相も出席しました。

世界遺産の「イスタンブール歴史地区」を構成する代表的な建造物は「トプカプ宮殿」「アヤソフィア」です。トプカプ宮殿はオスマン帝国のスルタンが切望した夢の大建築です。アヤソフィアは1500年に亘り、イスタンブールの至宝の建造物として存在感を示してきました。イスタンブールを代表するアヤソフィアとトプカプは今国論を二分して大揺れに揺れています。ことの発端は、世界遺産となっている旧大聖堂の博物館「アヤソフィア」を、イスラム教のモスク（礼拝所）に変更する。とエルドアン大統領が決定したことにあります。エルドアン大統領はイスタンブール市長から首相、大統領へと選挙を経て昇りつめた人で、オスマン帝国時代の皇帝にも匹敵する強権支配を確立した実力者と言われ長期にわたり政権を担当しています。国民に圧倒的な人気があります。

アヤソフィアの歴史を振り返ると、ローマ帝国時代の537年にキリスト教の大聖堂として建設。1453年オスマン帝国がコンスタンティノープル（現イスタンブール）を征服した際モスクに変更。1935年政教分離を掲げたトルコ建国の父アタチュルク初代大統領の下で博物館として今日に至ります。そして今回エルドアン大統領は、80年振りに宗教的に中立な博物館となっていたものを、再びイスラム教の礼拝の場であるモスクに改変するとする大統領令に署名し、2020年7月24日から礼拝の開始が始まると宣言したのです。この決定に対して欧米はすぐさま反発します。欧州連合（EU）は「残念な決定だ」。米国は「失望している」とすかさず表明しました。ユネスコは「深い遺憾」を示し、「世界遺産の保存状態を審査する」と言い出しました。ローマ教皇は「深い痛みを感じる」と表明。約100年に亘り東方正教会の中心だった歴史的な経緯からギリシャとロシアの正教会も反発しました。次号に続く

次回例会案内 2月19日（金）第117回 卓話「未定」 柿沼 孝枝 会員

埼玉浮き城プロバスケットボール ブログ 第115回例会 会報No.114 更新しました。